授業科目名	開講年次	開講時期	単位数	時間数	実務経験
心理学（ストレス理論）	1年次	前期	1	30	有

科目責任者	齋藤由美
授業概要	「患者の気持ちを理解する」ことは看護の要素の一つである。そのためには、人間の一般的な心理の理解と臨床場面での患者心理の理解が必要となる。また、人間は生活上の様々なストレスを受けている。ストレスの概念とその仕組みや生体反応を知り積極的対応方法を学ぶことにより心身の健康を維持発展することができる。この科目では人間の心理とストレスについて学び、人間理解と自身の理解に役立てる。
目標	１．心理的側面から人間を理解することができる。 ２．ストレスの概念や認知的評価、対処の概念やプロセスを知る。 ３．ストレスに対する認識と対処方法を知る。

授業内容

回	内容	担当	授業方法
1	看護における心理学（人間理解と心理学・科学としての心理学・心理学における心とからだ）フロイトによる心の構造	齋藤	講義
2	認知からの人間理解（感覚・知覚・心理的環境、記憶と想起、言語とコミュニケーション）	齋藤	講義
3	行動からの人間理解（欲求と動機、葛藤とフラストレーション、学習と行動）	齋藤	講義
4	発達からの人間理解（発達段階と発達過程、乳幼児期から青年期、成人期から老年期）	齋藤	講義
5	パーソナリティからの人間理解（パーソナリティとは、知能・性格・自己と自己意識）	齋藤	講義
6	人間関係からの人間理解（対人認知と対人関係、集団と組織、社会と文化）	齋藤	講義
7	看護と心理学（病者・患者・障害者心理、看護師自身の心理の理解、患者と看護師との関係、看護師と医療スタッフとの連携）	齋藤	講義
8	ストレス理論（セリエのストレス学説）	齋藤	講義
9	ストレスのシステム理論、心理社会的ストレス（ライフチャート・社会的再適応評価尺度）	齋藤	講義
10	生理学的ストレス（非特異的症候・外的刺激と生理的反応・汎適応症候群の反応プロセス）	齋藤	講義
11	ラザルスのストレスコーピング理論（ストレス体験の個人差に関係する要素）、コーピングの特徴	齋藤	講義
12	ストレス評価、適応のメカニズム	齋藤	講義
13	カウンセリングと心理療法（心理アセスメントの主な方法と特徴）	斎藤	講義
14	カウンセリングと心理療法（カウンセリングと心理療法）	齋藤	講義
15	試験	齋藤	―

履修条件	なし
教科書・参考書	系統看護学講座　基礎分野　　心理学　医学書院 コーピングのやさしい教科書　　伊藤絵美　金剛出版
参考書	なし
評価方法・基準	試験(100%)